

教えずに学ばせる授業 ―自律学習プログラム入門―

■講師



坂田 浩
(徳島大学国際センター准教授)

福岡教育大学卒。
「英語学習をしない英語の授業」を実践して5年が経ちました。少しでも学生が英語学習に取り組んでもらうように、そして徳島大学の英語教育をより良いものとしていくように頑張っています！

■プログラム概要

英語教員が学生から打ち明けられる悩みの中でも、「英語の勉強をしようと思っているんですが、なかなか続かなくて…」、「英語の勉強をやり始めたんですが、良い勉強方法が見つからなくて困っているんです…」といった学習方略に関する悩みは、よく耳にするものではないかと思います。今回紹介する「Learning How to Learn」は、そのような悩みを持つ学生の継続的で自律的な英語学習を支援するために作られたワークシートで、授業中の学習支援だけでなく、授業外での学習カウンセリングなどでも広く応用できる可能性を十分に秘めていると考えています。

本ワークシートは、ビジネスや人材育成の場面で用いられているセルフ・コーチングという考えを基に、(1)将来のビジョンを作る、(2)学習目標を設定する、(3)学習計画を策定する、(4)学習を実践する、(5)評価・修正を行う、(6)学習を習慣化する、という6つの項目を基に構成されています。実際のワークシートでは、上記の1～5項目に対応するワークが準備されており、例えば「将来のビジョンを作る」という項目に対しては「Future My Scope」を、「学習目標を設定する」に対しては「Can-do List」を、「学習計画を策定する」に対しては「3つの学習モジュール」というようなワークを準備しており、学習者が教員の支援の下、同じ学習目標を共有するクラスメートの意見も参考にしながら、効率的に自律学習を計画・実践できるように設計しています。

以上のように、今回は、上記「Learning How to Learn」の概要を中心に授業実践を紹介するものですが、全体のシラバスや実践上の工夫などについても紹介したいと考えています。本授業実践の効果については現在調査中ということもあり、具体的なものを提示するのは難しいかもしれませんが、学生からのフィードバックなどを基に、5年間にわたる本授業実践を通して見えてきたものについて報告するようにしたいと考えています。

■主な受講対象

自律学習について考えてみたい方、英語学習を始めてみたいと考えている方なら誰でもお越しください。

※SPODフォーラム2013の本プログラムを受講された方のご参加はご遠慮ください。

■本プログラムの到達目標

1. 自律学習支援と強制のバランスについて述べることができる
2. 「学習」に対する固定概念を再考することができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月27日(水) 15:30～17:30
会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育1号館 125番教室
定 員 : 60名